

箱根組ニュース

第385号 2025年 6月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

奥武蔵・蕨山の深い山に挑む二人、ゆっくり登って、新緑、山つつじ、ミツバツツジを楽しむ！

5月18日(日)、西武池袋駅に着くとすでにホームの椅子に西川さんが座っていた。西川さんとは30歳前後の時から付き合いたが二人で山に行くのは多分初めてだ。40年ほどして初めての経験を楽しんだ。

というわけで西川、戸丸の二名の山旅が始まる。

西武池袋駅発6時14分の快速飯能行きに乗車。少し曇り空だが雨の予報は出ていない、時折日差しも差し込む一日だった。

飯能駅に7時11分着。すぐにバス停に向かったが、すでに10人ほどが並んでいる。乗車時間が長いのであるべく座りたいがこれなら十分座れそうだ。

7時30分発の湯の沢行ききのバスに乗車。一番後ろの席に座れてラッキーだ。

後方に荷物が置けるのでありがたい。ほぼすべての人が座れたと思うたら。そこに野球部の中高生らしき団体が乗ってきて、車内は超満員になった。学生は飯能河原を過ぎたあたりで下車した。いろ

んな荷物を持つているので多分、天覧山下あたりの会場で練習かもしれない。

里山の田舎道をバスは快適に進んでゆく。名栗川だろうが、川沿いの景色はとてもいい感じだ。

バス通り沿いをたくさんの人が清掃している。私のふるさとでは「道普請」(みちぶしん)と言っていたが、鎌やスコップをもって道端の草取りや掃除をするのだ。60年ほど前の景色がよみがえった。その作業はバスが先に行っても続いていた。我々の下山口になる「さわらびの湯」を経由してなおもバスは先に行く。

さわらびの湯は田村さん達ともよく立ち寄った懐かしい日帰り温泉だ。なおも奥深くへバスは進んでゆく。

8時25分、名郷バス停着。

バイクのツーリングの方が休んでいるし、たくさんさんのバイクが通過している。トイレ休憩とストレッチをする。登山届の箱があったので2名の名前を書いて投函する。ストックを出し、靴を締め



なおす。

8時40分歩き出す。バス停から少し戻ったところに登山道入り口がある。蔵山へ4.5キロと標識が示している。

すぐに名栗川にかかる小さな橋を渡る。周りは新緑で一杯だ。しばらく舗装の林道を進む。

8時49分、蔵山まで3.2キロ地点を通過。まだ舗装の道だ。右側はきれいな沢が続いている。小さな滝がいくつもある清らかな流れだ。植林地と新緑の自然林が続いている。

白いヤマアジサイだろう、少し暗い森の中にあちこちに明るく咲いている。細く白い筋で岩を流れ落ちる小さな滝がきれいだ。

9時6分、蔵山まで2.6キロ地点の標識を通過。新緑の小滝が美しい。

9時50分、少し傾斜がきつくなっ

収支	
繰越	18605 円
支出	
ニュース/HP 作成	500 円
当日プリント代	0 円
現在高	18105 円

くるが桧の植林地の木々がまっすぐ天に伸びている。その奥、上方向には緑の向こうに空が見えている。九十九折れに登って行く。と尾根らしき景色が上の方に広

がっている。その尾根を目指して登って行く。思っていたよりも左側に道は曲がっていったが尾根が目の前だ。

10時4分、待望の尾根に到着。谷あい歩いてきたので、尾根に着く喜びはひとしおだ。小休止。

やはり尾根は変化に富んでいて楽しい。馬の背のようなやせ尾根も有れば、広い落ち葉のひろがった尾根もある。これを少し上り下りしながら進んでゆく。岩交じりの少し上りにくいところもある。

10時36分、岩と木の根の難所は手を使いながら乗り越える。少し穏やかな上りになると、あちこちに赤い花が見える。赤というよりはオレンジがかっているが「山つつじ」だ。私は子供時代よくこの花を食べていたので懐かしい。少し酸味があるが十分食べられる。

新緑の緑の中に赤く輝くつつじは美しい。
11時過ぎくらいから、

集合 6月15日(日)
小田急線新宿駅 7:30 発
快速急行小田原行き(前から3両目)

途中駅発
代々木上原 7:34 下北沢 7:37
登戸 7:46 新百合ヶ丘 7:52
町田 8:00 相模大野 8:03

秦野 8:35 着

交通費 新宿～秦野 片道 692円

6月15日(日) 弘法山(235m) 野草天ぷら
らくだコース 歩行約2時間20分
(上り1時間5分・下り1時間10分)
小田急線秦野駅から弘法山まで野草を採りながら歩いて公園で天ぷらを作ります。(ヨモギ、アザミ、ドクダミなどが取れます)
※お弁当は要りません。(そばうどんを作ります)
○持ち物 飲料水、非常食、食器、箸、カップ、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他
※出しつゆ、冷凍うどんそば、など持参できる方はお申し出ください。
※申し込み締め切りは 6月13日(金)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegum>

木々が枯れているのが目立ってくる。「檜枯れ」というらしいが檜やクヌギが昆虫によって運ばれる「檜菌」によって枯れてしまうらしい。木の根元などに木くずのようなものが落ちているのはほとんど枯れてしまっている。あちこちに広がっているので心配だ。つつじの美しさとは対照的に残念な景色だ。

11時17分、「落石注意、これより岩場」の立て看板がある。しばらく岩場が続く。

11時28分、名郷から2.8キロ地



点。残り1.7キロほどだ。

広葉樹の自然林の尾根道が緩やかに登っている。

11時40分頃、ピンクの鮮やかなつつじが咲いている。もう終わっていると思っていたミツバツツジが待っていてくれたかのように迎えてくれた。少し撮影タイム。

少し穏やかな上りを登って行く。

11時45分、分岐点に到着。右に行けば最高点の地図上の蔵山だが、左に進む。

11時55分、蔵山1033mに到着。展望台と書いてある地図もあるがしっかり標識がありここが山頂でいいようだ。記念撮影し、ベンチで昼食。何人かがやってきては、また降りて行ったり。昼食をとる人がいたりなかなかの人気の山のようなだ。

目標時間に着いたので1時間ほどの昼食タイム。小さなビールで乾杯し、二人の持ち寄りを分け合ってミニ宴会。コーヒーを忘れたのだが、西川さんが抹茶を持参していたので暑いお湯で美味しく頂いて昼食終了。

1時10分、下山開始。少し急な下りを過ぎると山つつじがあちこちで満開だ。

1時27分、蔵山から500m地点。



1時46分、藤棚山920、2m。小休止。馬酔木の新芽が赤く美しい。

2時44分、大ヨケの頭771m。松の花が美しい。

2時58分、林道を横切る。しばらくして倒木に大きなヒラタケらしきものを発見。いい香り。

4時22分、鳥居をくぐる。

4時58分、さわらびの湯バス停着。5分ほどで来たバスで飯能へ。

飯能駅ビル2階の山内農場でちよつとだけ乾杯。美味しかった。

